

## 第 4 回武蔵村山市地域公共交通会議の回答結果について

## 議題 1 市内循環バスのバス利用特典サービスの終了の可否について

## 【議題に対する賛否】

課題解決方策（案）	賛否		
	異議なし	異議あり	保留
市内循環バスのバス利用特典サービスの終了の可否について	17	1	1

## 【議題に関する御質問及び事務局からの回答】

御質問	事務局からの回答
他自治体のコミュニティバス（くるりんバス、く にっこ）の対応は	くるりんバス及びくにっこについては、令和3年 4月上旬にバス特を終了する予定です。
バス特に代わるサービスの検討予定はあるのか。	バス特に代わるサービスは行いませんが、利用者 数が低下しないよう利用促進に努めていきます。
利用者への周知はどのような方法を考えている か。	ホームページ及び市報による周知を行います。
バス特終了の場合、その後も影響について調査は するのか。	今後調査を行う予定はありません。
ICカードの収入実績割合は約2倍に増加して いるが、ICカードの利用割合はどの程度になっ たか。	立川バス株式会社としてのICカード収入実績 割合は74.9%であり、IC定期券を含めると 93.0%です。
ICカードの収入割合又は利用割合について、目 標値の設定をしていた場合の数値はどのくらい か。	数値目標は設定しておりませんが、サービス開始 から13年が経過した現在ではICカードの利 用割合は約9割です。
近隣市においても同様な傾向があるのか（立川バ ス株式会社以外）	西東京バス株式会社が運行している羽村市のコ ミュニティバス（はむらん）については、令和3 年3月中旬にバス特を終了する予定です。
そのまま継続してもバス会社側に金銭的負担は 生じないと思われるのに一方的に中止と言っ てきた理由（割引コストは自治体側の負担では）	本市の運行に関する補助金には上限があり、割引 コスト分については、現状バス会社負担となっ ております。
この制度はバス会社側が一方的に中止できる制 度なのか。	立川バス株式会社の営業割引制度であり、経営上 の判断でサービス終了とする場合があります。
ICカードにポイントを付けるのは時代の流れ。 他に同じようなケースはないのか。	他にICカードにポイントを付与するサービス はありませんが、1日に何度でも乗り降りできる 「MMワンデーフリーパス」があります。

御質問	事務局からの回答
他関係自治体との協議は行ったのか。	立川バス株式会社が運行しているコミュニティバスの中でバ斯特を導入している2市（立川市、国立市）に事前に方向性について意見交換を行いました。

**【議題に関する御意見】**

- ・立川バス株式会社の方針で、各市同様ならば、同意します。
- ・市独自のシステム改修・維持をするには財政負担がどの程度になるのか不確定であるため、現時点では難しいと感じる。
- ・バ斯特終了の場合、その経緯について利用者に対し丁寧な説明に努めていただきたい。
- ・立川バス株式会社が導入目的であるICカード普及が進んでサービスを停止するというのであれば、バ斯特を終了することは仕方がないことだと思います。また、市のバسترの導入効果は現状維持が続きそうで、これからの市の負担を考えると終了でよいと思います。
- ・バ斯特について利用者がどう感じているのか知りたいです。利用者のためには、継続してほしいです。